《第105回》令和四年三月の作品

〈三月十一日（金）文京シビックセンター５Ｄ〉

うららかやもうすぐ吾は百二歳　（清助）

三・一一（さんいちいち）十一年目の震災日　（正雄）

信濃にて一茶自適のおらが春　（正佳）

畦道に蓬摘みをる母娘かな　（奉男）

公園に春の陽あふれ児等の声　（平六）

新しきふれあい館や木の芽風　（貴美）

黄水仙供えて妣の誕生日　（隆治）

烏帽子岳悠々として春を待つ　（芙紗）

故郷の静けさにゐて山笑ふ　（前歩）

空白み大白鳥の北帰行　（孝昭）

梅祭こゑして女猿廻し　（一江）